

2023年度 科目別 授業計画(シラバス)

科目名	運営管理	必修 選択	必修	年次	2	開講区分	2セメスター(後期)
学科・専攻	美容師科・全専攻	授業形態	講義	単位 時間	1 30	曜日 時限	水 K1(1限) / K2(2限)
教員	諸岡功明	【教員実務 経験】	大学院博士課程において、教育学を専攻したのち、本校のみならず様々な高等教育機関で実践を行いました。本校においては10年以上国家試験対策に従事しています。				
【到達目標】	美容業における運営管理の重要性を理解し、公衆衛生の向上に寄与しようとする美容師になるために、国家試験合格に必要な知識を身につける。						
【授業の学習内容】							
美容師になるために合格が必要な国家試験に必要な知識、テクニックを当該教科だけでなく、関係する他教科の分野まで身に付け、実際に過去問などにおいて合格可能レベルの点数を取ることができます。							
週	授業形態	授業計画・内容					小テスト・中間テスト・定期試験
1	登校	授業についての基本的な心構え、ルールを理解できる。 当該教科における国家試験の頻出項目の概要を理解する。					
2	登校	運営管理の目的について理解する。運営管理の主要3分野の構造を理解する。 経営者の責任について理解する。					
3	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。①資金管理②税金					小テスト5点
4	登校	社会保険制度について、医療保険、介護保険、後期高齢者、雇用保険、労災保険の違いを理解する。					
5	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。①保険の被保険者②給付③自己負担の割合					小テスト5点
6	登校	年金について、国民年金と厚生年金の差異を理解する。					
7	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。①年金の被保険者②給付③自己負担の割合					小テスト5点
8	登校	労務管理における労働者の権利及びその根拠法について理解する。					
9	登校	以下のポイントにつき、問題に正答できる。 ①労働基準法と労働者の権利②労働安全衛生法と健康診断					小テスト5点
10	登校	中間テスト					中間テスト20点
11	登校	中間テストで間違えたところを確認し、正しい知識を身につける。					
12	登校	消費者保護の意義と仕組みにつき、理解する。					
13	登校	関係法規分野と関連する、以下のポイントにつき理解する。①政金法②法の目的					
14	登校	定期試験					定期試験50点
15	登校	定期試験フィードバック・成績評価					小テスト10点
準備学習 時間外学習	準備 : まとめのプリントを整理するファイルの用意 時間外学習 : 授業のポイントを復習し、記憶する。						
評価方法	●習熟度 : 定期50点 口頭試問、筆記式小テスト30点 中間テスト20点 ◇出席 : 別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます。 ◇合 否 : 60点以上で合格						
受講生への メッセージ	近年国家試験の教科になり、過去問などがほとんどありません。その分出题されるポイントは非常に狭く、そこを抑えれば短期間で高得点が狙えます。効率よく学ぶ必要があるため、自己学習よりも、授業でポイントを押さえますよう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
日本理容美容教育センター『運営管理』適時講師が教科書のポイントをまとめたものを用意します							